

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容	成果・課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に対して積極的である。</li> <li>・学習内容によって基礎的な知識が定着していない。</li> <li>・言語事項に関する知識が定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習、復習の方法を具体的に提示する。</li> <li>・1学年の復習を繰り返し取り入れながら授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の学習において、予習、復習の方法を具体的に提示することで、小テストや定期考査で成果が出た。</li> <li>・言語事項に関する復習時間を授業で取り入れる時間が少なく、生徒の理解に課題がある。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項についての知識は比較的定着している。</li> <li>・社会的事象を理解するために適切な資料を活用することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の選択、読み取り方を具体的に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象についての関心がやや向上しつつある。</li> <li>・資料の正しい選択や読み取り方に課題がある。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前向きに取り組んでいる生徒が多い。</li> <li>・徐々に習熟度の差が大きくなってきている。</li> <li>・関数の領域にやや課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復練習で基礎的・基本的な力を向上させ、全体の底上げを行う。</li> <li>・ICTを取り入れた授業を展開し、板書とワークシートを対応させやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを取り入れることで学力の定着が図れた。</li> <li>・関数の領域に苦手意識をもつ生徒が多い。</li> <li>・習熟度の差があり、全体の底上げに課題がある。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野によって、その興味関心や取り組む意欲に差がある。</li> <li>・集中力の継続が難しい一部の雰囲気の影響され、全体的にその雰囲気になってしまう傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な現象と関連づけ、興味関心をもたせる。</li> <li>・授業中の声かけを多くし、集中できる環境にする。</li> <li>・基礎学力定着のため毎回の小テストを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の小テストを行うことで、基礎知識の定着を図ることができた。</li> <li>・集中して授業に取り組む時間は増えてはいるが、自主的に取り組むことに課題がある。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器練習において、個人練習に積極的に取り組む姿勢がある。</li> <li>・パートのまとまりを意識して練習を進める力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パート練習の方法を知るとともに、他学年との交流練習を積極的に行うことで、チームとしての意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動時のグループ練習の方法について定着しつつある。</li> <li>・生徒が自主的に活動を進め、どのようにしたら演奏をまとめられるか考えながらグループ活動を行えるよう指導する。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・個々の作品の質に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想段階、制作段階で、イメージに近づけるために熟考させる助言や見本を示す。</li> <li>・様々なサンプル作品を用意する。</li> <li>・アイディアが膨らむ生徒には、さらに展開できるように助言していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプル作品や生徒作品を提示することにより、デザインを熟考できるようになった。</li> <li>・生徒それぞれに個別に対応して助言することにより、より深くデザインを探究できるようになった。</li> <li>・アイディアが膨らまず考えが深められない生徒がいることに課題がある。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均程度の体力がある</li> <li>・知識の定着に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に知識を振り返り、復習する機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習する機会を多くし、知識を定着できる生徒が増えた。</li> <li>・握力に課題が見られる生徒が多い。</li> </ul>
技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や実習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・知識の定着に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの活用を充実させる。</li> <li>・プリントに記載されている発展的な内容を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの内容を簡潔にし、わかりやすくしたことにより、学習意欲が高くなった。</li> <li>・同じ課題を基礎と応用で反復することで知識の定着ができた。</li> <li>・座学のときの集中力に課題がある。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査では、学習に取り組んでいる生徒とそうでない生徒の差があり知識の定着に大きく差が開いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査だけでなく、授業内容に関する小テストを行い、知識の定着を図る。</li> <li>・授業の中や授業後に、ワークシート等の記入状況を確認して授業内容の確実な理解を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストを行うことで、用語を覚えるなど単純な知識の定着が図れた。</li> <li>・知識を生かす問題に課題があるので、活動を含めた授業展開を工夫する必要がある。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的な発言が多い。</li> <li>・学力の定着に大きな差が見られる。</li> <li>・学習意欲にも差があるように見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の復習を取り入れながら、授業展開をしていく。</li> <li>・身近な題材を用いて授業を行い、生徒の興味関心を引き出していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入部分で、生徒の興味関心を引くような題材を用いることで、英語が苦手な生徒も前向きに取り組もうという姿勢が見られた。</li> <li>・復習を取り入れる量と全体的な学力の定着に課題がある。</li> </ul>